

まちかど

アルバム



因幡のソウルフードに舌鼓

東町二丁目

10月8日(土)、9日(日)に開催された鳥取お城まつりでは、江戸時代に鳥取藩で食されていた「ご汁」が無料で配布されました。これは、すり潰した大豆に、大根、ゴボウ、油揚げなどを加えたみそ汁で、現代までこの地域に伝わるソウルフードです。「ご汁を食べた人の中には、「子どもを懐かしむ人や、「初めて食べたけどおいしい」という子どもも。たくさんの人たちに食され、用意された250食が、わずか2時間足らずでなくなるほどの人気ぶりでした。

地域ぐるみで交通安全

福部町海士



秋の全国交通安全運動期間中の9月27日(火)、福部保育園で交通安全教室が行われました。園児たちを交通事故から守るため、毎月実施しているこの行事。この日は、交通安全保護者の会が参加し、園児たちの指導にあたりました。信号のある横断歩道を渡る練習では、「信号が青に変わっても、きちんと車が来ていないかを確認して、周りからみんなのことが分かるように手を挙げて渡りましょうね」とのアドバイスに、園児たちは「はい、わかりました」と元気よく答えていました。

伝統漁法「うぐい突き」を体験

気高町睦逢

10月2日(日)、気高町逢坂地区にある大堤池で、うぐい突きが行われました。これは、水を抜いた池で、「うぐい」と呼ばれる竹で編んだ底抜けのかごを水中に突き立て、中に入った魚を獲る伝統漁法です。今年は学生人材バンクを通じて呼びかけた大学生16人を含む、約30人が体験。苦戦しながらも鯉を捕まえると、拍手や歓声が起りました。会場では、獲った鯉と地元野菜がたっぷり入った「うぐい鍋」やおにぎりなどが無料で振る舞われ、にぎやかな一日となりました。



誰より高く舞い上がれ

福部町湯山



10月2日(日)、鳥取砂丘で「第23回たこあげフェスティバル」が行われました。全国各地からたこ揚げの愛好家たちが集い、自慢のたこを披露したほか、訪れた家族連れにたこをプレゼント。たこを手にした子どもたちは、大喜びで空へと舞い上がらせました。鳥取砂丘は、常に適度な海風が吹いています。時折風が弱まり、たこが沈みかけることも。「頑張り、頑張り」と応援しながら、一生懸命たこを引っぱりました。再び元気を取り戻したたこを見て、子どもたちは大満足の表情でした。

「いのち」テーマに古民家インスタレーション

用瀬町屋住

9月24日(土)、25日(日)、田舎を元気にする芸術祭」が開催されました。これは、豊かな自然の中で感性を磨いてもらおうと、里音の主催で行われたものです。八頭町出身で愛知県在住の内藤満里子さんが、古民家や周辺の棚田などの空間を、様々な自然の素材を使ってアレンジ。これには、インスタレーションという表現方法が取り入れられています。部屋ごとに木や花、古道具などが飾られ、来場者を魅了。一方、準備には地元住民が小物づくりに協力するなど新たな交流も生まれました。



わらべ館童謡コンサート in 西郷小学校

河原町牛戸



10月5日(水)、西郷小学校でわらべ館童謡コンサートが開催されました。この日招かれた、わらべ館童謡・唱歌推進員の二人が、「ふるさと」など童謡・唱歌の代表作を中心に歌を披露。また、コンサートには西郷保育園と西郷小学校の子どもたち、河原町民合唱団、保護者や地域の人などが多数参加し、西郷保育園の園児と河原町民合唱団が合同で曲を披露したり、振り付けを真似しながら参加者全員で合唱したりと、盛りだくさんの内容で、笑顔あふれる素敵なコンサートとなりました。

小中学生のコラボ!

佐治町加瀬木

10月7日(金)、佐治町総合福祉センターで、佐治小学校と中学校の子どもたちが、合同で「ソーラン踊り」を、地元のお年寄りたちと一緒に披露しました。これは、佐治町まちづくり協議会の世代間交流事業の一環で、中学生が小学生に踊りを指導したり、合同で披露したりすることで、世代間の交流を図るものです。練習では「テンポが速くて難しい」と苦戦しながらも、一所懸命踊りを覚えてきました。本番では、力強いソーラン踊りを披露することができ、訪れたお年寄りたちも大喜びでした。



第2回城下町鹿野そばの花ウォーク

鹿野町鹿野



秋風が心地よい9月25日(日)、第2回城下町鹿野そばの花ウォークが開催されました。この日は好天に恵まれ、148人も人が参加。道中、ふらつと鹿野ガイドの会のみなさんが、そばの花や古い街なみなどが、鹿野の魅力について解説。また、水谷集落では、特産の鹿野そばを食べました。元気にゴールに到着した参加者は、「鹿野のいいところをたくさん知ることができた。また、鹿野をのんびりと散策してみたい」と語っていました。

鎧美人がステージを舞う

東町二丁目

10月9日(日)、三十二万石お城まつりのステージイベント、「第2回鎧美人コンテスト」が久松公園で行われました。今回は4人の女性たちが参加。鎧を身にまとい、歌や踊りなど、各々が独自のパフォーマンスを披露し、会場を沸かせました。中でも、徳本昌美さんは、しゃんしゃん傘踊りを披露した後、持参したバレエボールを使って観客にアピール。審査員全員が満点を付け、見事グランプリに輝きました。「温かい声援のおかげでいつもの自分を出せた」と、喜びを語りました。

